



JIC インフォメーション

第142号 2007年1月10日

年6回 1・2・4・6・9・11月の10日発行

1部500円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 小島ビル 6F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連
国際交流誌

Поздравляем С НОВЫМ ГОДОМ! 2007



желаем вам счастья и успехов во всём !

JIC スタッフより新年のご挨拶・・・・・・・・・・ 2-11P

論文コンクール優秀作品「東アジア諸国と極東アジアとの
“強い” 協力関係樹立の可能性」李 亘・・・・ 12-13P

ペンパル情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14P

JIC イベント報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15P

JIC 留学情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会) 会員を募集しています。
年6回の情報満載のインフォメーションをお届けします。



皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年同様、本年も国際親善交流センター(JIC)およびジェーアイシー旅行センターをよろしく願いいたします。

旅行と留学をベースに日ロ交流の大きなすそ野を作ろう！

あけましておめでとうございます。

旅行と留学をベースに日本とロシアの民間交流の大きなすそ野を作ろうと思い定めて、1997 年に7名の仲間たちとともに再出発してから、あっという間に 10 年が過ぎてしまいました。



伏田です

この間、ロシアに送り出した留学生は長期生だけでも 700 名以上にのぼり、現在、JIC の留学卒業生たちの多くが日ロ交流の各分野で活躍しています。ロシア語講座は、東京で週7クラス、大阪で週4クラスと定着し、昨年4月からは在日ロシア人のための日本語教室(週2回)も東京で

開始しました。東京のロシアン・フェスタ(5月)と大阪のロシア・フェア(6月、12月)もすっかりおなじみになりました。地味であっても着実に日ロ交流の種をまき、育ててきた 10 年だったと自負しています。

このように何とか JIC のロシア交流活動を絶やさずに続けて来られたのも、この 10 年間、ジェーアイシー旅行センター(株)で旅行業務に邁進し、個人旅行の手配から取材やイベントの企画など、あらゆるニーズに対応できる旅行会社に成長すべく寝食を忘れて取り組んでくれた仲間たちのおかげです。おかげさまでジェーアイシー旅行センター(株)は、第一種旅行業者の認可を受け(2004 年 9 月)、ロシア・旧ソ連方面の専門旅行社として安定した評価を受けるようになりました。ロシアで安心して旅行を楽しめるシステムを作り上げ、多くのお客様にロシア旅行を楽しんでいただき、新しいロシアを発見していただくお手伝いをすることが、私たちの変わらぬ大きな目標です。

さらに、訪日ロシア人観光客の受入れがこの5年間で飛躍的に拡大しました。10年前には存在しなかったジェーアイシー旅行センター(株)・インバウンド部が確立し、ロシアのお客様に日本の旅行を楽しんでいただき、新しい日本を発見していただくという仕事が新たに加わりました。

ジェーアイシー旅行センター(株)にとって昨年の大きな出来事は、モスクワ事務所の開設と(社)ロシア・NIS 貿易会(前・ロシア東欧貿易会)への加入です。トヨタ自動車のロシ

ア進出以来、モスクワに事務所を構える日本企業が大幅に増えました。エネルギー景気に沸くロシア経済と高い技術力を誇る日本経済とが密接に結びつければ、日ロ交流のすそ野はさらに元気に広がるに違いありません。ジェーアイシー旅行センター(株)もその一員として旅行業の分野で、日ロ経済交流に参加したいと思います。

あとに続く「スタッフあいさつ」に見るように、ともに働く仲間が次々と増えました。私にとってこれほど嬉しいことはありません。次の 10 年で、JIC はさらにどこまで変わることができるのか。旅行業務の拡大が日ロ交流の可能性を広げ、日ロ交流の拡大がさらに旅行業務の拡大に結びつく、そんな相乗効果を狙って、今年も意欲的に頑張りたいと思います。

ジェーアイシー旅行センター(株)代表取締役

国際親善交流センター副会長

伏田 昌義

新しい発見の旅 ロシア雑貨ツアー

11 月末より冬のハバロフスクへ「ロシア雑貨ツアー」の添乗で行ってまいりました。ポエムグラファーの沼田元氣氏を水先案内に 20 代から 30 代の女性を中心とした約 30 名での旅となりました。グジェリの陶器など特定のものをテーマにしたツアーはこれまでももされていた可能性はありますが、ロシアの雑貨一般をテーマにした旅は、今回がロシアへの旅行史上初めて?!だったのではないかと思います。

ハバロフスクでは 3 泊 4 日の日程でありましたが、一般のツアーでは立ち寄ることのないごく普通の文具店や写真館、郵便局、切手、本など愛好者が毎週日曜日に集う趣味のクラブ等を時間をかけて訪問。文房具店では日本ではあまり見なくなった素朴なデザインの



＜雑貨ツアーの可愛いパンフレット＞

ノート、市場ではコンフェータと呼ばれる砂糖菓子やチョコレートのかわいらしい包装に目をやり、郵便局へ行けば「ロシア版ゆうパック」の「ПОЧТА РОССИИ」というキリル文字に興味深々で何人もの人が郵便ボックスのみを購入。また、キリル文字で自分の名前などを

刻んだスタンプ作りなどに
興じました。今回ツアーの参
加者は私の知る中で最もシ
ョッピングに時間は費やし
ましたが、多分使ったお小遣
いは最も少ないオリジナルな
買物を皆さんされていました。

視点や関心を変えれば同じ
ものでも違って見えてくるも
のです。今回は沼田さんをはじ
め、主婦の友社「雑貨カタロ
グ」との取材協力から始まったツアーでしたが、また今年もロ
シアの新しい発見の旅を提供して行ければ幸いです。

雑貨カタログのホームページ: <http://www.zakkaweb.com>
沼田さんも「ぬま伯父さんの工場拝見記」を連載中。

東京 杉浦 信也(すぎうら しんや)



「今年こそは」

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎える度に「今年こそは」と何か目標を持ちたくな
ってしまいますが、2007 年の私の「今年こそは」は、「健康で、
元気であること」です。地味な目標で、ここに書くのもどうかと
思いますが私にとっては大きい目標です。

私は日々不健康な生活をしています。帰宅が遅くても早
くても、朝 3 時、4 時まで起きていることはめずらしくありませ
ん。特に何をするでもなく、深夜のサッカーや映画を観てしま
ったり、パソコンにむかっているうちに時間を忘れてしまっ
たり。体調を悪くするたびに、こんな毎日では、不摂生がた
たって風邪を引いても当たり前と痛感させられます。

毎年、ロシアの現地
旅行会社のスタッフが
日本へ来てくれます。
日々お世話になって
いる方々に会えるいい
機会なのですが、その
関係者達がとにかくパ
ワフルです。ロシアの
景気の良さを象徴して
いると言えるのかもしれ
ません。私たち日本側も
圧倒されてばかりでは
話が進まないのではな
いので、私たちも応戦
します(がんばってテン
ションを保つ、というこ
とです)が、やっぱりロ
シアには圧倒されっぱ
なしです。元気な人と
会い思われるのは、元
気だと得するな、とい
うことです。毎日連絡
を取り合っているのも、
顔を合やす機会はわづ
かなので、お互いの元
気な姿を見ただけで安
心できますし、話題も
発想豊かになるよう
な気がします。それで
私も今年こそは、「健康
で、元気でいたい」と
思うに至ります。



2007 年は元気なロシア人に囲まれても、ロシア圧勝では
なくて熱戦にしていきたいと思います。本年も皆様にとって
良い年になりますことを祈っております。

東京 柳沢 昭子(やなぎさわ あきこ)

知っとこ！アゼルバイジャン女子バレーボールチーム

新年あけましておめでとうございます。大阪事務所で勤
務している後藤と申します。

去年は 11 月から日本で世界バレーが男女とも開催され
て盛り上がっていました。残念ながら日本はメダルには手が
届かない結果に終わってしまったのですが、テレビ中継の
視聴率も良く、日本戦の会場は男女とも満員だったようです。
女子では、ロシアがソ連時代以来の優勝。決勝のブラジル
戦は見ごたえ十分でした。

そんな世界バレーで、ロシアの他
にも旧ソ連のチームが出場していた
のは知っていましたか？僕が目し
たのは女子のアゼルバイジャン。「ア
ゼルバイジャン？」しかも女子の団体
競技に……と。アゼルバイジャンと言
えば、柔道やレスリングのイメージだ
ったんです。それが女子のバレーボ
ールというのはびっくりでした。予選
から見ていると、中国やロシアを相手に互角の戦いをしてい
ました。このチーム、エースのナタリア・ママドワ選手の調
子次第にかかっているみたいです。いわゆるワンマンチ
ーム？旧ソ連で活躍した往年の選手もいるみたいですが、基
本若いチームなのでこれからもっと伸びてくるかも、と楽しみに
しています。ちなみに今回 13 位！組み合わせが悪かつ



たかな〜と自分なりの解釈。次はいつ見られるのかと楽
しみですが、ヨーロッパにはロシアの他にも強豪国がズ
ラリ！予選を勝ち抜くのも大変です。なかなか国際大会
で見られる機会は少ないと思いますが、密かに応援し
ていこうかなと思っています。機会があれば日本との対
戦を見たことがないので是非見たいものですね。バレー
に限らずですが、自分の仕事で携わっている国がこ
うやって出ているとなんか嬉しい気がします(笑)

・・と去年の世界バレーで気になったことを書いてみ
ました。今年はどんな年になるでしょうか。みなさんにとつ
ていい年でありますように！

大阪 後藤 正明(ごとう まさあき)

一年の計と新年の嘘

去年この欄に嘘を書いたことになった。僕は去年まで
有効のパスポートを更新し、新しい旅を重ねているはず
だったが、それは期限ギリギリまで使われた。去年の元
旦、とりあえず羽田空港へ行った。そのまま空いている



<撮影地: 栃木>

便で飛び立ち「今年は旅の年にしよう」と無計画な旅の中で計画する。さて、パスポートの有効期限は、渡航可能な国を制限する。残存半年。

「ロシアへは 6 月までに行っておこう」残存 3 ヶ月。行ける国はかなり減る。「よし。ベトナムなら大丈夫だ」それ以降。帰国日まで有効な国だと本当に少ない。今まで気にしな

かった国が浮かび上がってくる。10 年に一度だけ楽しめるさやかなイベントの中、旅の年は実現した。

今年はまださらなパスポートを手に入れている。残存期間を気にせずに、行き先を決めるところから始めよう。

10 年間一冊勝負のスタートだ。

東京 金井 義彦(かない よしひこ)

はじめまして、鈴木です ^^v

新年明けましておめでとうございます。今年、JIC のインバウンド部に入社しました鈴木です。大学でロシア語を学び、モスクワで 1 年だけ留学もしました。ロシア語を使えるような職場で働きたいと常々考えていましたが、インバウンド部はまさに日常ロシア語が飛び交う理想的な職場です。飛び交っているのはきれいなロシア語ではないようですが。

旅行業と聞くと、日本人を外国へ連れて行くほうだと思われるがちがな気がします。日本人が旅行好きなのも有名な話です。しかしこの業界に入って、日本でも意外とインバウンド業務、つまり外国人の

日本旅行をやっている会社が少なくないのだということを知りました。JIC のインバウンドでは主に、ロシアやウクライナから来るお客さんの日本旅行の手配をやっていきます。ひとまとめにロシアと言っても、モスクワから来たり、ウラジオヤクなどの極東地域



から来たりと様々で、巡るコースや泊まるホテル、行きたい観光地などが多様で、私にとっては日々発見の毎日でした。お客さんの要望に出来るだけ応えられるように、違うパターンのルートを開発したり、乗り換え案内や時刻表を調べたり、

国内旅行に役立つ知識を日々探求しています。すべては仕事のため、というよりは、日本という国についての見聞を深めることが出来るので、自分も楽しみながらやっています。

入社から半年以上経過し、最初は朝起きて昼間行動し、夜寝るという生活パターンですら辛かった私ですが、最近はその生活にも慣れ、仕事もようやく一通りこなせるようになりました。相変わらず失敗も多く周囲の方々に迷惑をかけっぱなしですが、今年こそは誰にも迷惑をかけずに仕事ができるようにになりたいです。これからもよろしくお願いします。

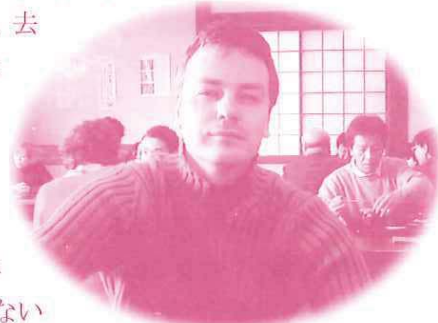
東京 鈴木 要子(すずき ようこ)

己を変える！

明けましておめでとうございます！皆さんにとって今年は昨年よりもっともっといい年になるといいですね。

去年に出来なかった事、やってみたかったけどなかなか時間が見つからず諦めた事。どんな事でも、新年だからこそ挑戦できると私は信じています。

因みにこの私は、去年から興味を覚えた日本の歴史を今年中にもっと深く勉強しようと考えています。仕事柄、国内のあらゆる地域の手配をしなければいけない



事があって、それぞれの場所の特徴や史跡を事前に調べて、プログラムに盛り込んだり、ガイドさんに説明したりなど、とにかく事前調査は仕事の大事なポイントです。それがきっかけに史跡調べがどんどん面白くなって、気がついたら史跡だけではなくその地域の歴史にまで「手を出す」ようになりました。あれこれ読んでみると「日本の歴史ってめちゃくちゃ面白いじゃないか」とツボにはまって、戦国時代・江戸時代・明治時代を中心に徹底的に勉強することにしました。この時代の歴史と言えば、並ならぬ頭脳と度胸を備えた人物が活躍していましたね。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、坂本竜馬、西郷隆盛。考え方といい、生き様といい、ロシア人の私は驚きと感動を覚えました。彼らの言動から学ぶことが多く、個人的には織田信長が秀吉に言ったこの言葉が好きです。

「人間は与えられた器に合わせて己を変える。」

大掛かり、かつ難しい仕事を与えられるとかなりへこむ私ですが、この言葉を読んだ時ぐっときました。「前向きに考えなきゃ、やらなきゃ！」そういう気持ちにさせる言葉です。

歴史の人物から学ぶものは多いです。今年はずっと日本史の勉強しながら、自分を変えていきます。

東京 モロゾフ・デニス

「しかるべく」

新年おめでとうございます！

早いもので我が息子も 1 歳をすぎました。身長はすでに私の半分以上に達し、なにやら呪文を唱えつつひょこひょこ動き回っています。この一年間、JIC の仕事は休ませていただき自宅界限にひきこもっていましたが、子どものおかげで今まで触れることのなかった様々な世界を体験することができました。

例えば、子どもの発育を考慮した様々なおもちゃ。ベビーカーを押して歩いてこそ感じる街の利便性。教育テレビの子ども番組の質の高さ。など



＜「息子の好き放題」の図＞

など……。そんな体験から改めて感じたことは、どの世界にも、プロフェッショナルな人がいるものだ、ということです。そして、物事には「時期」があるのだな、ということ。

1 歳の誕生日にもらったラクダのぬいぐるみ。北欧ブランドでどうも高価そうな物ですが、まあ、ただのぬいぐるみだな、と私は思い、息子自身もほとんど興味がないようでした。が、ひと月たったらまあ喜んで遊ぶこと！ぶらぶら曲る首の手触りが面白いらしく、げらげらと笑いながら振りたくっています。子どもが何を喜ぶか研究し、形にするプロの技。そして、受け手の息子は 1 歳 1 ヶ月という時期。これらがばっちり揃ったが故に、息子の大笑いは起こったのです。しかるべき時に、しかるべき物を。私自身が仕事をする上でも、大きなヒントになりそうです。

ところで、彼はかなりの食物アレルギー持ちです。でも食材の与え方についてはアレルギーのプロである医師の方々も言うことがまちまちで、「これがベスト」というマニュアルがないため常に試行錯誤しています。それぞれの子どもの体質によって反応や治り方も違うので、他の子の事例をそのままは適用できないのです。目の前の子の体調や成長の様子を見ながら、この子にとって最適なやり方を探っていく。十把一絡げではないサービスに通じるようで、このこともなかなかよい体験になっています。

東京 百瀬 智佳子(ももせ ちかこ)

世界は広い

あけましておめでとうございます！

私は昨年 2 月から東京ロシア語講座・日本語講座のお手伝いをさせていただいております。私が初めてロシア・ロシア語と出会ってから早くも 15 年が経ちました。恵まれたことに、この 15 年間絶えず何らかの形でロシア・ロシア語に関わ

ってきています。昨年はロシアつながりで、ロシアの他、スペイン、キルギス、南米チリへと沢山の国を訪れる機会がありました。ロシア以外の国にも広く興味を持つようになったのは、ロシア留学時にできた友人達(ドイツ人、スイス人、スペイン人、メキシコ人等々)の影響がとても大きいです。まだ彼らの住む国全部は訪れていないですが、スイスってどんなトコ？メキシコってどんなトコ？言葉は？という感じでどんどん好奇心が沸いてとまらなくなります。そんなこんなで、とりあえず一番手っ取り早くできる？言葉の勉強から始めました。意外なことに、一番初めに学んだロシア語が他の外国語の理解に多々役立っています。たぶんロシア語に限らず、何語であっても外国語を学ぶということは、きっと次の新たな外国語を学ぶのに役立つものなのだという感じがしますが、どうでしょう？とにかく……世界はやっぱり自分の五感をフルに使って感じてみなくちゃわかりません！言葉が未熟だっていいじゃないですか、興味をもったらその国を訪れてみましょう、きっと新しい発見があるはず。世界は広いですよ。ロシアからスタートした私の世界は、一体どこへつながっていくのかなあとフツと思います。ロシア語だってスペイン語だって楽しく会話できればいいじゃん♪と、チャンスさえあればいつでも身軽に飛んでいく準備ができてます！異なる国の異なる文化に触れ、そこで人と出会うことは私にとって一番の喜びです。このインフォメーションを読まれている皆さん



のほとんどがロシア好き、旅好きだと思いますが、ロシアだけに限らず、異国を感じる・体感することはステキなことですよ。ね。どんどん旅に出て行きましょう！！

ちなみに私は、2007

年のお正月をクロアチアとボスニア・ヘルツェゴビナで過ごす予定です♪

皆様に多くの喜びと健康をお祈りいたします、そして本年も新しい発見とステキな出会いが詰まったご旅行ができますようお祈りしております。

東京 藤枝 康子(ふじえだ やすこ)

新入社員の五十嵐です

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年の 4 月から JIC 大阪支店で働いております五十嵐と申します。本年度もどうぞよろしくお願い致します。

長い間興味があつたロシア、及び旧ソ連地域に末永く携わっていけるであろうこの会社に就職でき、「ロシア」に運命を感じずにはいられない私の 2006 年の目標は「全力疾走」でした。

思い返せば 2005 年も、そのまた前の年の 2004 年の

目標も「全力疾走」。ここ3年間、ずっと同じ目標を立てているのにはちゃんと理由があります。2004年にはモスクワ留学、2005年には就職活動と大学卒業というイベント(!?)があり、そして2006年には社会人1年生としての生活がありました。どれもこれも全ておろそかには出来ない大事なことで、全力疾走せざるを得ない年だったのです。



私が言う「全力疾走」とは、ありていに言えば「一生懸命頑張る」ということです。こう書くと小学生の目標みたいな感じがしますが、一生懸命頑張るということはなかなか大変であり、限りがありません。そしてやはり今年の目標も「全力疾走」。精一杯心を込めてお客様のご旅行を手配させていただきます!!!

冒頭に戻りますが、「運命」を感じたことをもうひとつ。実は東京本社のインバウンド部で活躍している鈴木要子さん、彼女は私の友達であり先輩なのです。2004年度に留学していたモスクワの某大学で出会い、お互いの帰国後もずっと仲良くしてきました。JICへの入社を希望したのは、示し合わせでも何でもなく、ただの偶然。留学先の大学で出会った先輩と同じ会社に就職するなんて、やはりこれは運命でしょう!!!先輩とは、部署は違えど同じ会社で働く者同士。切磋琢磨して成長していきたいものです。

それでは皆様、2007年も輝いていきましょう★☆☆

大阪 五十嵐 真夕(いがらし まゆ)

モスクワの街角から

あけましておめでとうございます。

昨年11月、月初めから2週間と、間に1週間あけてもう1週間、通算で3週間ほど、モスクワに行く機会がありました。添乗などで数日滞在するチャンスは、毎年のようにありましたが、これだけの長期間の滞在は、本当に10年ぶりくらいのことでした。しかし、ともかくもモスクワの変貌ぶりには、た

ただ驚くばかりでした。

まず面食らったのが交通渋滞。今回、市内とシェレメチェヴォ第2空港の間を数回往復しましたが、日中で1時間半、週末・夕方の下りなどは、2時間半近くかかりました。また、中心部では、2~3キロの移動に30~40分かかるのはざらでした。数年前、市内中心部の「サドボエ環状道路」の外側に、

更にもう1本の「第3環状道路」が開通し、渋滞緩和が期待されたようでしたが、こちらも今では慢性的な渋滞、といった具合でした。

郊外には、日本でもまだまだ珍しい、巨大な大規模量販店「メガマーケット」が続々とオープンし、どの店も買い物客であふれかえっていました。大きなカートに買い物を満載して、駐車場の自家用車に向かう家族連れに、かつての物不足の面影はありませんでした。

モスクワ市内のあちこちで、再開発の槌音が聞こえています。小さなアパートや古い工場は取り壊され、おしゃれな超高層マンションや、スマートなオフィスビルにどんどん建て替えられていっています。

それと、街を歩いていて感じたのは、外食をする人も、場所も増えたということ。またちょっと立ち寄れるような、喫茶店などもあちこちに目に付くようになりました。モスクワ市民のライフスタイル自体が、ずいぶんと様変わりしているようです。

古き良き、ロシアの温もりは、失わないでほしいと願いつつも、この駆け足の変化を、ロシアの専門家を自認する僕たちも、リアルタイムでしっかりとキャッチしていかなければ、との思いを新たにしたり、今回の滞在でした。

東京 神保 泰興(じんぼ やすおき)

新しい年も、ようこそモスクワへ!

皆様、明けましておめでとうございます!

JIC モスクワ事務所のトカチェンコ・ドミトリーと申します。ほとんどのロシア人は、正式的な名



前の他に呼びやすい愛称を持っています。私の名前の場合は「ジーマ」です。よろしくお願いいたします!

さて、JIC モスクワ事務所といいますのは、2006年の春から営業し始めた、日本のお客様用のヘルプデスクです。日本とロシアは隣国であると言うことは地図をご覧になれば疑いがないですが、いまだに首都から首都へ行く時間は飛行機で速くても9時間ちょっとです。距離・時差・ライフスタイルなどの違いがあるので、到着したら「惑星の反対側だな」という感じでしょう。そんな違いにもかかわらずというか、そんな違いのお陰でというか、日本人とロシア人は相互に興味を持っているように感じます。自分とまったく違う世界を体験したら、自分の世界もより深く理解できるのではないかな、と思います。ただ、その自分の世界と違うロシアで方角がおわかりにならなくなった場合、JIC モスクワ事務所へご遠慮なくご連絡を入れてください。



JIC モスクワ事務所は、モスクワの中心に位置しております。歩いて 5 分でトレチャコフ美術館があり、地下鉄に乗れば、15 分以内でクレムリンまでもボリショイ劇場までも、モスクワの名所のあらゆる場所へ行けます。

モスクワというのは、長い歴史を持つ鐘楼、スターリン時代の建築を代表する高層ビル、小さくて伝統的な横通りと広いソビエト時代の大通り、コーカサスから来た売主の多い市場とクレムリンのそばにある現代的な地下貿易センターなどの多い大都市で、お正月が近づくと奇跡が起こるような雰囲気を持っている不思議な町です。

では、新年にもロシアおよび旧ソ連の国々をぜひお訪ねください。お待ちしております！

モスクワ トカチェンコ・ドミトリー

新年はウォッカで乾杯！

皆様、新年おめでとうございます。今年も皆様にとって良い年になります様、お祈り申し上げます。

留学経験などで、以前からロシアになんらかの形で関わっていたスタッフが多い中、仕事を通して初めてロシアと関わった私。まだまだ毎年、新しい発見があります。昨年の出会いは「ウォッカ」。ロシア情報センターで行われたウォッカ講座に受講生として参加し、「ウォッカってこんなに奥深かったのね～」と興味を深めている今日この頃です。



インフォメーション誌上でも何度もご登場いただきました、銀座のバー「BLOODY DOLL」のマスター、土谷先生の下、ウォッカについて学んだのですが、そもそもウォッカについては「カクテルや缶チューハイに入っている無味無臭のお酒」くらいの知識しかなかったんです。数種類試飲して思ったのは、「味、するじゃん。」味はあるに決まっているんですが、アレとコレ、全然味が違う！…ってことはこれ、同じカクテルを作ってもちよっと違う味になるのでは？…あれ？じゃあ、このカクテルにはこのウォッカがいい、とか、今日の気分はこっち、なんていうのがあるのでは？…かなりの驚きでした。昔からある古いウォッカ、新しいウォッカ、製法もいろいろ、ロシア以外の国でも作られており、原料もいろいろ、もちろん味もいろいろ、合う料理もいろいろ、ということで、聞けば聞くほど「へえ～、へえ～」といったい何へえつけたかわからないほど。ネーミングも面白いですし、瓶のデザインも美しくステキなものが多いんですよ。最近は酒屋さんで、ついウォッカの棚に目が行ってしまったりして…。

すきっ腹では…、ということで、合わせてロシア風のおつ

まみやロシア料理にも興味が広がっています。今年は、ロシア未体験の友人を誘ってロシア料理レストランを行脚しようかな、と計画しています。講座で仕入れた蒔蓄を披露するのが今から楽しみ。え？自分で料理を作ったら？…そうですね。では来年はこの場でお勧めレシピをご紹介できる様、頑張ります。

では、今年も 1 年楽しく幸せに過ごせます様、まずはウォッカで乾杯！

東京 宮路 智子(みやじ ともこ)

復帰しました～、よろしく！

あけましておめでとうございます。

育児休暇から復帰して昨年 5 月から再びJIC大阪にて短時間勤務で働き始めました。1 年半ぶりに復帰した会社は時々伝え聞いてはいましたが、新入社員も入り、オフィスも便利な場所に移転し広々としていました。見慣れないオフィスで、最初はなんだか浮いていたような気もしますが、徐々に慣れてきたようです。最近では『育児と仕事の両立』ということがちまたでもよく言われていますが、私の場合、子供たちは幸いにも保育園に通うことができ、夫も義父母もいろいろとサポートしてくれているし、子供が風邪を引いたり熱を出したりして突然休んだときも職場の仲間がサポートしてくれて、本当に恵まれた環境で感謝しています。

1 歳半の子供たちは最近「パパどこ？」と言うとパパを、「ママどこ？」というとママを指差すようになりました。どうやら物に名前があることを分かり始めたようです…。子供たちが歩き始め、言葉を少しずつ理解し始め、階段を昇ったり下りたりと本能が経験と合わさって確実に新しいことをマスターしていく様子を見ると、時に自分が成長していない(もしくは退化している…)ような、寂しさや



焦りに似た気持ちが起こります。ただ最近の研究では脳は退化しない、いくつになっても成長していくものだという嬉しい研究結果も出ているようですし、子供の成長を横目で見つつ、自分も新たなことに挑戦していける力を持ち続けたいなあと。

今年もよろしく願います。

大阪 小原 浩子(こはら ひろこ)

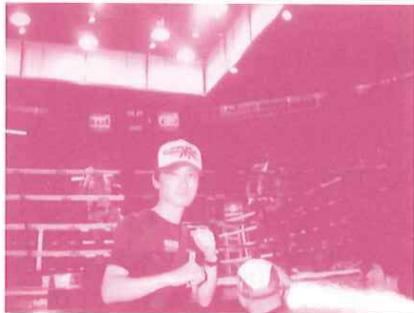
いよいよ 30 代突入です！

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。私にとって 20 代最後の年となった

昨年旅多き年で、公私含めて 4 カ国へ渡航し、プラス 50℃からマイナス 20℃まで体感した豊かな一年でした。

まず 1 つめはこのインフォメーションでも 2 号に渡り旅行記として紹介させていただいたウズベキスタン。私にとって初のイスラム圏の国でしたが、非常に穏やかで平和な雰囲気・人懐っこい人々・おいしい料理と、仕事とはいえない楽しい旅でした。

つづいて 2 つめはタイ。首都バンコクを訪問しましたが、いままや地下鉄・モノレール(BTS)などの交通インフラが驚くほど整備され、非常に外国人にも動きやすい街でした。観光名所はもちろんですが、格安のタイ式全身マッサージと、熱狂のムエタイ観戦は最高でした。



3 つめはカンボジア、アンコールワット。言わずと知れたカンボジアが世界に誇る遺跡です。現在のカンボジアの起源とも言えるクメール王朝の栄華を示すものでご存知のとおり世界遺産に登録されています。遺跡の感動だけでなく、現地の活気ある生活の中に身をうずめ、時間を忘れて過ごした数日間は、忘れがたいものとなりました。

そして最後は我がロシア。今回の渡航先は極東ハバロフスクでした。今年から流通しはじめた 5000 ルーブルの新札に印刷されている都市です。久しぶりにマイナス 20℃のロシアを体感し懐かしい感覚を覚えるとともに、ロシアで食



べる黒パンやロシア料理のおいしさを改めて実感しました。また今回ハバロフスクでは、ロシアの一大格闘イベント「パンクラチオン(ギリシャ起源の格技)」

というものを観戦してきました。日本で言うところの「プライド」みたいなもので、毎年 5 月と 12 月に行われているものです。その熱狂ぶりと予想以上に凝った演出は大変面白く興味深いものでした。今年の 5 月には JIC で観戦ツアーも企画予定です。詳細は HP やブログなどでまたお知らせしますので、皆さんお楽しみに！

今年もより多くのロシア・旧ソ連地域の魅力を皆さんにお伝えしていきたいです。最後になりましたが、今年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

大阪 永富 文彦(ながとみ ふみひこ)

2007 年新たな挑戦

新年明けましておめでとうございます!!! 本年もこの JIC イ

ンフォメーションをご愛読、また JIC にご好意を持って下さっている方々にとって良い年になりますように……。

新年早々私事でございますが、昨年 11 月に結婚いたしました!!! 浅野(旧姓)でしたが、本年より白井真理奈として JIC の業務を継続いたします。皆様何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年に引き続き個人的な趣味の話になりますが、百名山制覇を目標にしている私にとって 2006 年は大きな課題を達成できた年でした。それは、山梨県から長野県にかけ南北 20km に及ぶ八ヶ岳一最高峰赤岳(標高 2899m)の完全縦走を果たしたことです。改めて振り返ってみると、夏季縦走では大雨の中、冬季縦走ではスノーシュー(西洋カンジキ)を履き動物の足跡を追ってみたり、コンパスを頼りにアイゼンとピッケルを用いどこまでも続く銀世界を歩き続けたことは、全てが感動の連続でした。今後も危険と隣り合わせのアルパイン登山を目指すことにはなりますが、何事もチャレンジすることは、あらゆることに対してのモチベーションを維持できるのではないかと思います。2007 年は新たにロッククライミングと山スキーに挑戦したいと思います。技術を基礎から学び経験を積み、今までに無かった世界と更なる感動と向き合えるような気がします。

ところで、年末に毎年恒例の冬山キャンプに行ってきました。これも個人的な行事ですが、登山以外にも私はジープクラブに所属しています。このジープクラブは『アウトドア』をテーマになんでもトライするのが建前ですが、基本的には野外料理とお酒を楽しむようなクラブです。奥多摩でも冬場には降雪が激しく、空気も澄み気温もマイナス 15℃を下回ります。満天の星空の中、気の合う仲間と焚火を囲みその炎をみているだけでもほっとするひとときでした。

東京 白井 真理奈(しらい まりーな)

1:29:300(ハインリッヒの法則)

人為的要因が色濃く感じられる大事故などの度に語られることの多くなった 1:29:300 というこの数字。近頃では仕事全般における心得としてもしばしば引き合いに出される。大事故(大失敗)1 件の陰に小さな事故・トラブル 29、外部の苦情は出なかったがスタッフが気づいた失敗 300、さらに、スタッフによって気づかれな

かった不手際がその何倍、何十倍とあることが容易に予想される。

不満を持ったお客様の 96%は企業に対しては何も言わないもののその不満についてさまざまな形で外部に情報発信をしているという。

苦言を呈しつつもこちらを向いてくれているお客様は本当に貴重な存在であり、大切にしないといけない。と同時に、内部での 300 の気づきを決して無駄にしてはならないと思う。大事故は 300 の気づき、29 のトラブルを見過ごした結果やってくる「1」なのである。

日常業務の中でひやりとしたこと、“無事に済んでラッキー”だと思ったこと、小さなストレスを感じていること、そういうことを無為にやり過ごさずに一つ一つ改善をしていく意識を持ち続けたい。

2007 年が皆さまにとって実り多き 1 年になりますように。

東京 曾根 直子(そね なおこ)

キャディー
やってます。



007 / ロシアより愛をこめて・・・

新年、あけましておめでとうございます。

5月にモスクワ事務所がオープンし、新しく JIC スタッフとして勤務しています。去年は何もかも手探りの状態、不安いっぱい模索しながらの1年でした。

現在モスクワはバブル真っ只中、活力に満ちています。お店では高いものから売れていき、物価は上昇、ルーブル為替も値上がりする一方です。多数の日本企業が新しく進出し、出張者も増えました。そんなモスクワからエネルギーをもらいつつ、今年は JIC モスクワ事務所もパワーアップしたいと思います。

日々変化し続けるモスクワの、できるだけフレッシュな情報を皆様にお届けしようと、JIC ブログに少しずつ写真&一

言コメントを載せています。モスクワ在住が 8 年になるので、最近は特に変わったニュース以外は驚いたり、興味を持つことも少なくなっていたのですが、気分一新、

皆さんに最新情報をお届けできるよう毎日カメラを持ち歩き、日々何か面白いものはないか探しています。日常生活のちょっとした「おっ！」という発見をお届けしたいと思います。皆さんもリクエスト&コメントあればどんどんお寄せください！

モスクワ 山川 詩保子(やまかわ しほこ)



指導者たるもの

あけましておめでとうございます。

例年通りサッカーネタに絡めつつ、今年はロシアの次期大統領適任者を考える。2008 年まで待てない。

エリツィンニジコ。オリガルヒが擁護され特権を利用し、作り出し、やりたい放題やった時代に格差社会が生れたこと、ジーコの下で『海外組』と呼ばれた選手達が優遇され一部『国内組』と呼ばれる選手がはじき出されたことは酷似した構図と言える。政変や 1998 年の金融危機といった混乱と、(『海外組』の選手が好き放題やっていたわけではないが)試合中の組織は未完成、そして W 杯予選敗退という結果は双方ともにお粗末以外のなにものでもない。

プーチンニトルシエ。ベレゾフスキー、ホドルコフスキーが追放・投獄され、天然資源関係の会社を国有化。反政府なメディアは生きていけない世間を作り、テロに対して強硬姿勢をとる。これはトルシエが自分の構想・意見に従わない選手を冷遇し、全選手を私生活までがんにがらめに拘束したことと比較できる。先ごろの経済成長の影にある独裁的政治に対する国内外からの批判や低所得者層や地方との格差は未だ埋まらないところは、2002 年 W 杯でベスト 16 という結果の裏にサッカー協会との確執や選手の消耗があったことと似ている。

オシムのような人物は今ロシアにとっては諸刃の剣になりかねない。(今の日本代表にはいいと思う。はやく俊輔と松井呼んで!)『日本のサッカーを日本化する』⇒国民性を活かす、オリジナリティを作り出す。『走るサッカー』⇒体力をつける。国民の所得を上げ、中産階級層の増大、成長を促す。この 2 点はいいいことである。しかし、『考えるサッカー』⇒考えさせてしまうとエリツィンの時のように好き勝手やりかねないのである。(余談であるが、『走るサッカー』『考えるサッカー』というキャッチコピーは如何なもんだらう。考えなしに走るバカは今頃クビだ。)

ロシア政治界に現ロシア代表監督・ヒディンクのような人物はいないだろうか？モチベーションアップがうまく、その国民性・メンバーの特性をつぶさに把握、活かすことを目指す人が必要と考える。1998 年オランダをベスト 4 に、2002 年韓国をベスト 4 に、2006 年オーストラリアをベスト 16 に。ほかに PSV で CL 優勝と、この方針・結果をして彼を名将と言わずしてなんというべきか。2002 年、日本が決勝トーナメント一回戦敗退を決め、韓国イレブンに『俺たちもここでいいか・・・』という空気が流れる中、「日本なんか関係ない！おまえらここで終るのか！」と叱咤したという。この鼓舞がスペイン、イタリア撃破につながったのは言うまでも無い。

仕事してます！



国民全体のモチベーションアップは国力のアップにつながるし、ロシアの特性を活かす特産ができたり特徴が目立ったりする。旅行業にとっては願ってもないことである。例としてロシアの雑貨に着目し 11 月に弊社が募集した『雑貨ツアー』は約 30 人集まり盛況だった。観光事業という人が動くことだけでなく、特産物の輸出というものが動くことでもビジネスは育つのである。今や『カスペルスキー』というウィルス駆除ソフトは全世界で有名になり、近頃日本でも露出が多くなってきた。ハッカーの天国といわれる人材、技術を、駆除する方に役立てればいいことである。しかし、考えさせるよりも、ある程度洗脳し、ガツンと言いきかし引っ張っていくことが必要なのである。自由にさせると先述どおりあらぬ方向へ行きがちだからである。

誰が適任なのか？ 気になった方はロシアに行ってください。政治家のヒディンクを探してください。ヒディンク・ロシアの様子を見てきてください。稚拙な見解ですが、こういう確固たる考え方を持つようになったのは、ロシアに旅し、留学し、働いているからです。そのきっかけが JIC の旅行・留学であれば我々は大変うれしく思います。

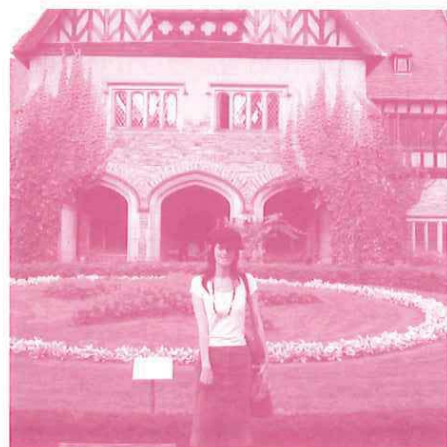
最後に、今年も皆さんにとってよい年でありますように。

東京 林 寛之 (はやし ひろゆき)

めざせ、美ジョガー！

高校時代に買った白いジョギングシューズとチャコールグレーの長いランニングパンツ。久々にこれらを活躍させる日々が訪れました。○年間の冬眠生活を終えたシューズとパンツは現在、週 2、3 回のペースで使用されています。ランニングパンツは買った当時よりもちよっときつくなってしまうけれど。

JIC での仕事を 1 年経験し、仕事の流れをやっとつかんだ今、「この時期は死ぬほど忙しい」とか「わりと新しいプランを考える余裕がある時」といったリズムが分かってきました。今夏の旅行のピークシーズンを越えたあたりで何か新しいことを・・・



を・・・と思って始めたのが“ジョギング”。要はただ走るだけ。でも実は、いつでも始められそうだからこそ手が付けにくかった手強い相手。やっと一歩前進！ジョギングを決心して、5 時半に起き、薄暗いなか外に出た 1 日目、その気持ちよさに継続を決意。30 分ほどですが、最初はほとんど歩いてばかりだったのが、最近は半分以上走れるようになりました。翌日に襲ってきた

筋肉痛も、最近はなくなりました。冬に向けてパーカとニット帽を買い足し、冬も走る気満々です。

ジョギングをはじめてからは、季節の移り変わりに敏感になりました。「あ、昨日はまだ葉っぱがあったのに」とか「同じ時間なのに昨日より暗い」とか。でも、ロシアでは日本よりも季節の移ろいがスピーディー。“紅葉→落葉→雪景色”が 1 週間のうちに見られたりします。ですからロシア人は気候の変化に敏感です。ロシアでは冬が長いので、太陽が顔を出せばこぞって外に出、散歩や日光浴を楽しみます。日本ではマラソン・駅伝といった長距離走の季節は冬ですが、ロシアの冬に外を長時間走るのはちょっとできませんね、残念。誰かマイナス 30 度でも外を走れるコートと、すべらないジョギングシューズを開発したら、ロシアで美ジョガーがたくさん見られるかも。

今年もたくさんの幸せが皆さんに訪れますようお祈りいたします。どうぞ 2007 年もよろしくお願いいたします。

大阪 小西 章子 (こにし あきこ)

一年を振り返ってみて・・・

皆様明けましておめでとうございます。

去年の 4 月から入社しました鶴田ゆりです。大学在学中はこの JIC インフォメーションの読者でしたが、今はこうしてみなさまにご挨拶できる側になりました。とても感慨深く、気の引き締まる思いです。まだまだ至らないところがたくさんあるかと思いますが、迅速丁寧にご旅行を手配できるように一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



さて、私が JIC に入社してから 9 カ月が経ちました。今回は一年を振り返るという意味で、社会人になって「私、変わったな～」と思うことを書いてみようかと思います。

約 9 ヶ月前、私は学生でした。その頃私はアルバイトもしていなかったの、卒論を書き終え卒業も決まった春休みの前半はここぞとばかり大いに遊びまわり、後半は力尽きてだらだらと過ごすという日々でした。だらだらと過ごす日は、休日が貴重だなんて思うことはなくボーっと過ごしておりました。

今思うととても勿体無い休日の過ごし方をしたなと思います。今では私は週末の休日がとても貴重だと思うようになりました。週末の予定を考えるのが楽しみになり“出不精”が“出たがり”なったような気がします。外出以外でも部屋の片付けをしようとか読みかけの本を読んでしまおうとか、休日の過ごし方を考えるようになりました。まとまったお休みがもらえると

どこに旅行に行こうかな〜と予定を立てるのが楽しみになりました。社会人になった今、毎日が必死の連続ですが平日は働いて週末は休むというメリハリのある過ごし方は充実した気持ちになります。

次にまとまったお休みが取れたら、私と一緒に写真に写っているタマーラさんに会いにモスクワに行きたいと思っています。タマーラさんとは二人でウォッカのビンを一瓶空けて歌って踊った仲(笑)。タマーラさんに会える日を楽しみに、今年もお仕事を頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

東京 鶴田 ゆり(つるた ゆり)

真冬&暗闇の夏休み

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

年末年始に遅い夏休みをいただくことが数年続き、いよいよ恒例化してきました。今回は北極圏に初チャレンジです。この時期の北極圏は



太陽が全く昇らない季節となります。普段は日陰を好む私も、さすがにお日様が恋しくなます。逆に、日の沈まない白夜の時期は長時間活発に行動し、体力的にとっても疲れます。夏と冬で多少の差はあるものの、年間を通して夜と昼があるあたりまえの生活をありがたく思います。

さて、北極圏の後は列車でロシア国内を南下し、ウクライナへ。首都キエフは何度も訪れていますが、今回はヴィニツァ州の「ガイシン」という地方都市。初めての土地はいつもワクワクします。近くにはユダヤ教ハシディーム派を創始した聖職者ナフマン・ブラツラフのお墓があるウマニという町があり、世界中から巡礼者が集まるそうです。

ウクライナは人口 5,000 万人、ロシアに次ぎヨーロッパ第2の広い国土を持つ大国です。ロシア人の多い東部、ポーランド・オーストリア帝国の影響が色濃い西部、オスマントルコの影響を思わせる南部と、それぞれ違う顔を見せてくれます。北極圏から黒海近くまでの約 2800 キロ、歴史と文化と大自然をこの目で触れることができる旅は、世界における日本と自分を再確認させてくれるものでもあります。

ウクライナは旧ソ連の一部というイメージが強いのですが、その歴史は長く、紀元前8世紀ごろのホメロスの「オデュッセイア」に騎馬民族のキンメル人(現ウクライナ領土)に住んでいたという記述が残っています。一般的に知られるソ連・ロシアが記したウクライナの歴史とは違う角度から見た歴史書があります。著者は元在ウクライナ日本大使の黒川祐次氏です。

ウクライナは短期滞在であればビザ免除(日本国籍の場合)となっています。モスクワ、ヘルシンキ、ウィーン、イスタンブール経由などが便利です。

*黒川祐次著「物語 ウクライナの歴史」中公新書

大阪 三宅 まゆみ(みやけ まゆみ)

年始のご挨拶

新年おめでとうございます。JIC 旅行センター大阪支店インバウンド部のズビャーギン・フョードルと申します。去年就職したばかりの新入社員です。どうぞ宜しくお願い致します。

私自身の出来事としては、去年は結婚、就職、新居へ引越しなど、色々なことが溢れた一年間でした。私の弟が笑いながら言うには、「お得なパッケージをもらったよね」って。JIC での新しい仕事に関しては、初めての売上成績、最初で最後になってほしい失敗、など様々な経験をしました。入社前に、「サラリーマンとしての新たな人生って大丈夫？」という不安を抑えきれなかったのは、今でもよく覚えています。が、まだ一年も経っていない JIC での正社員の生活は今のところどうも気に入っています。

ロシアから入る旅行依頼の手配仕事は、時々つらいこともあります。色んな意味で自分のためにもなり、非常に面白い仕事だと思います。この仕事を始めてから、日本の地理や名所に関する私の知識が激増し、沢山のロシア人と日本人に知り合っただけでなく、日本の旅行業界や日本人的なビジネスのやり方も勉強することができています。未知の世界に潜り込んで、毎日が新しい経験と印象ばかりです。また、正社員として初体験ですが、JIC の雰囲気と社内の人間関係は、どうも日本会社にしたらちょっと違う、有難いことに私にとって身近なロシア的な彩色を色んな意味で溶け込んだ会社として感じています。JIC の同僚たち、本当にありがとう！これからくれぐれ宜しくお願いします！

この間東京出張から帰る途中、京都駅あたりで新幹線の窓からちょっと変わった背景を見かけました。あるマンション

の窓に、「戦争-NO,テロ-NO」と大きな文字で書かれていました。ここに住んでいる人達が、きっと本気で平和を訴えているのでしょう。今年が世界規模だけでなく、皆それぞれ個人レベルでこそ調和と安定に満ちた一年になりますように！

大阪 ズビャーギン・フョードル



今年もJICを
どうぞよろしくお願いいたします！



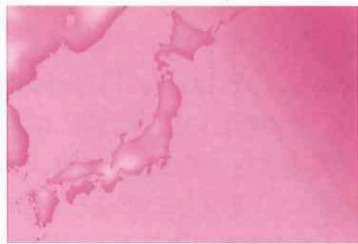
日ロ国交回復 50 周年記念

優秀賞 論文コンクール

「東アジア諸国と極東ロシアとの "強い"協力関係樹立の可能性」

～李 亘～

昨年12月、クアラルンプールで初の東アジアサミットが開かれた。東アジア共同体構想が少しずつではあるが進展し、東アジアに共同体創設の動きが出てきている。この構想に登場する主な国は、ASEAN加盟国と日本、韓国、中国のいわゆる、ASEAN+3の国々である。しかしながら、この構想にロシア、は決して登場しない。東アジアサミットにはオーストラリアやインドといった国々が参加しているにも関わらず、である。地理上で言えば、極東ロシアも東アジアに位置していると考えられ、これは少なからず不自然なことと思われる。本稿ではロシア、極東ロシアに於ける東アジア諸国との協力関係の可能性を考察する。



1、協力関係樹立による各国の利益

(1) 経済的側面

現在の東アジア諸国とロシアの経済的結びつきと、協力関係樹立により生じるとされるメリットを考える。東アジアとアジア太平洋地域全体の対ロシア貿易は2002年、ロシアの対外取引高全額の16, 1%ではあるが、東アジア諸国にとってはロシアの関係は微々たるものであると考えられる。日本の対ロ貿易は事実上、停滞期にあり、品目構成は、ロシアの輸出は、低加工品、食品、原料、日本からの輸出は機械、プラント、輸送機材である。しかし、2003年の小泉首相のロシア訪問の際に日ロの「行動計画」が採択され、この計画は、日本と極東ロシア、特にサハリンとの経済協力の強化を定めており、両国の貿易、経済協力を強固なものにするだろう。中国とロシアとの間の経済的結びつきは年々強化されている。極東アジアにおいては、いわゆる「担ぎ屋」によって中国の日用品がロシアに輸出されている事実もある。中ロ国境の町、綏芬河には5億ドル以上のお金が落ちている、といわれ、その物流の規模の大きさがわかる。ロシアは、韓国を東アジアにおける有望なパートナーだという認識を持っており、韓国の投資能力とロシアの先進的科学技术を結びつけ、競争力のある製品を生産することが可能となっている。また、韓国と北朝鮮の協力により、朝鮮半島横断鉄道とシベリア鉄道との結合も可能となり、東アジアから、

ヨーロッパへの商品運送時間を大幅に短縮できるようになる。

(2) 資源をめぐる問題

ロシアの予想資源量は天然ガスは世界の42%、石油は12～13%、石炭は23%、ウランは14%を占めている。このうちの多くはシベリアに埋蔵されているが、ロシアが単独の資金で発掘することはかなり難しい。くしくも、東アジア諸国は将来、深刻なエネルギー問題に直面すると予想される。新しいエネルギー供給先を求めるアジアにとって、ロシアはその際有力候補となるだろう。

2、協力関係樹立への障壁

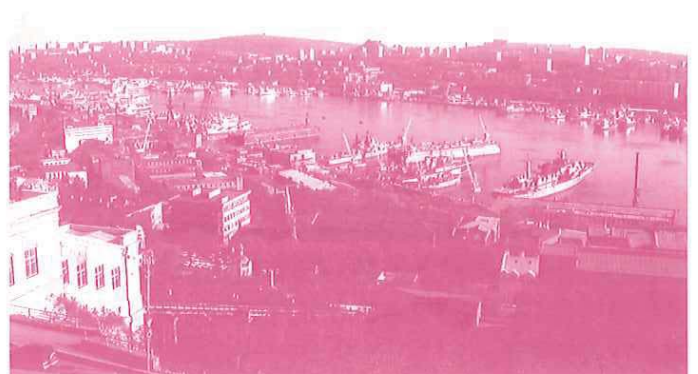
(1) 国境・領土問題

現在、日本とロシアの間には国境・領土問題が存在する。また、中国とロシア(当時はソ連)の間にも国境問題は存在した。協力関係の樹立を真剣に考える際、この国境・領土問題を同じテーブルの上にある問題だとは考えるべきではない。日本と韓国の間、日本と中国、台湾との間にも国境・領土問題が存在するにも関わらず、東アジア共同体に対する議論が始まっていることを考慮すれば、これは決して非現実的な考え方ではないといえよう。日露間の国境・領土問題は今に始まったことではなく、50年以上の月日を重ねても日本にとって満足のいく改善はなされなかった。それならば、サハリンも含めた極東ロシアに於いて、協力関係を樹立し、その枠組みの中で問題の是正を協議する方が現実的とも考えられよう。だが、国境・領土問題が協力関係樹立への障壁になることは避けられない。

(2) イメージによる問題

多くの日本人はロシアに対してよいイメージを持っていない。対ロ感情についての世論調査によると、「親しみを感じる」が10%前後である一方、「親しみを感じない」80%を占める。「日露間のイメージ・ギャップ」という論文によると、「日本人はロシアの対外的な顔に「無法者イメージ」を見出す一方で、そのうちなる顔、すなわち国内状態に関しては「無秩序」イメージを持つものが多い」ということである。その論文

＜ウラジオストクの風景＞



の中には、元駐ソ大使の重光晶の「ロシア人個人について「世界中でももっとも人のよい部類に属する」という指摘も収められている。そうすれば、多くの日本人は「真」のロシア人の姿を理解していないことになる。また、多くの日本人はロシア＝ヨーロッパ・ロシアというイメージを持っており、極東ロシアに対しての知識や具体的なイメージは持ち合わせていない。かくいう筆者も、「ロシアに行く」という話をすると、「エルミタージュには行くのか」という問いが帰ってくる場合が少なくはない。彼らにとって、極東ロシアをイメージすることはかなり難しいことなのである。この様な状況の打開策として、最も有効と思われる策は、やはり国際交流ではなかろうか。幸いにも、日本の地方自治体とロシアの地方自治体との提携数は2002年時点で38件にのぼり、その多くが日本海沿岸の地方自治体とロシア極東地方の地方自治体との間のものである。姉妹都市間の提携をより強いものにする事で、多くの日本人が「近いロシア」「ロシア人はいい奴」といったイメージを持ったとすれば、協力関係樹立への第一歩となり得るだろう。

3、実現の可能性

先にも述べたように、東アジアサミットにインドやオーストラリアが参加しているにもかかわらず、ロシアが参加していないのは不可解なことといえよう。まずは、東アジアサミットにロシアが参加することから協力関係を作ることが現実的と思われる。それは大統領ではなくても、ロシア極東地域の大統領全権代表者のような極東地域を代表する指導者でも良からう。アメリカの政治学者、サミュエル・ハンチントンによると、異なる文明が一つのコミュニティを形成することは難しいとのことである。しかし、これからの東アジアを考える上で、ロ

シアをそのコミュニティに招き入れることは得策である。この協力関係樹立を第一歩に将来、東アジアに於ける安全保障に関する枠組みも創られよう。東アジア諸国とロシアとの協力関係の樹立は、経済的側面だけではなく、安全保障にも発展しうる全く新しい道筋なのである。

〈参考文献〉

(財)自治体国際化協会編『ロシア極東の地方自治』2003年6月(財)自治体国際化協会

横田慎二編『東アジアのロシア』2004年5月 慶応大学出版会株式会社

4月開講予定!

Японский язык 1-ый семестр начинается!!

ロシア語圏出身の方のための
初歩からの日本語講座、1学期開講!

первый семестр 2007-го года 第1学期日本語講座4月3日からスタート予定!

● 20 уроков

(по вторникам и пятницам)

● 45000 円 за полный курс

(2250 円 за один урок)

● Длительность одного урока – 90 минут

(начало в 13:30, окончание в 15:00)

За дополнительной информацией обращаться:

Тел: 03-3355-7287 jictokyo@jic-web.co.jp



早春のサンクトペテルブルグで、バレエの祭典が行われるのを知っていますか? 4月12日から22日の日程でマリインスキー国際バレエフェスティバルがマリインスキー劇場を舞台に行われます。…でも国際バレエフェスティバルっていったいどんなフェスティバル?

2007年で第7回を迎えるこのフェスティバルは、2000年にマリインスキー劇場の総監督であるゲルギエフがロシアバレエ、特に、マリインスキー劇場の国際的な地位向上と他バレエ団との交流のために企画したフェスティバルです。毎年各国の有名なバレエダンサーたちがマリインスキー劇場に集まり、2006年はルジマートフ・ゼレンスキー・ロバートキナなどのマリインスキー劇場のスターたちとのコラボレーションを楽しんでいます。

去年はロンドンのロイヤルバレ

マリインスキー国際バレエフェスティバル

のご案内



エからアリーナ・コジョカル、パリのオペラ座からジョセ・マルチネス、マチュー・ガニオら有名なバレエダンサーが集まり、マリインスキー劇場のソリストたちと「オンディース」「眠れる森の美女」「ドン・キホーテ」「白鳥の湖」などを共演。古典だけでなく、コンテンポラリーの作品や数々のガラ・コンサートも行われ、最終日の“Stars of World Ballet Gala Concert”などはプログラムをみるだけでも圧巻!! です。

と書きましたが、書いている私も実は見たことがありません(涙)…でも、素晴らしいフェスティバルであるということだけは、お分かりいただけるかと思います。

JICではこのフェスティバルを鑑賞するツアーを企画しました。この機会にぜひロシアおよび世界の一流ダンサーたちの華やかな舞台を鑑賞してみませんか? フェスティバ

ルの詳細は発表され次第 JIC のホームページにアップしますので要チェック! バレエ好きのご友人にも是非紹介くださいね!

ロシアや旧ソ連からペンパル募集です!



ロシア(旧ソ連)に友達を作ろう!



①Name ②Sex ③Born ④Address ⑤E-mail ⑥Hobby ⑦ Languages

①Mamaev Michael②Male③1978④Russia, Izhevsk city⑤ sendonly@nightmail.ru⑥programming; old cinematograph; books; music; volley-ball⑦English, Russian

① Shuklin Nicolay ② Male ③ 1980 ④ Russia, Izhevsk ⑤ tozoku@prime1.ru ⑥ literature, music, cinema,culture hi-tec,philosophy⑦English, Russian, French

①Polisky Sergey②Male③1986④Russia, Rostov-on-Don city⑤Dober@aaanet.ru⑥Music, Culture, Anime, Sport⑦ English, French, German, Russian

① Julia ② Female ③ 1989 ④ Russia, Norilisk ⑤ visasmarr@mail.ru ⑥ Drawing, reading, anime, manga, Japanese Culture, folk-music⑦English, Russian, Japanese a little bit

①George (Yura) Yurasov②Male③1987 (19 years old)④ Russia, Moscow ⑤ nyak-kirdyk@mail.ru ⑥ Art (cinema, painting, design, multimedia), Music (Russian accordeon - "bayan", I play at the University Orchestra), Sports (kendo, skateboarding), Japanese Culture, Travel, Literature ⑦ Japanese, English

①Kruglov Alexander②Male③1984④Russia, Vladimir town ⑤ sanchezmen@mail.ru ⑥ Occupation, Hobbies: I am student of Architecture Depatment of the local university, I am fond of music, anime, cars, Japan⑦Russian, English

①Churbakov Sergei②Male③1985④Russia, Novosibirsk city⑤sergwarm@gmail.com⑥learning Japanese language, listening music, driving car ⑦ Russian, a little bit - Japanese and English

①Malakhov Alexander②Male③1986④Russia, Archangelsk town⑤none@atknet.ru⑥Culture, philosophy, math, reading, computers, programming, anime&manga, speaking on interesting topics⑦Russian, English

① Maria Fadeev ② Female ③ 1983 ④ Israel, Tel-Aviv ⑤ famichka@gmail.com⑥I'm student, studying nursing. I take a great interest in Japanese language, Japanese culture, applied arts, anime.⑦English, Russian, Hebrew, Japanese a little.....)

①Gaidamaka Taras②Male③1990④Russia, Novii Urengoi ⑤ zazazip@yandex.ru ⑥ Japanese language, sport, and computer⑦English, Russian

Please note: there are two of us, and we will write letters together!

① Naumova Olga ② Female ③ 1989 ④ Russia, Saint Petersburg ⑤ randomhappens@yandex.ru ⑥ Japan, disign, literature, communication, computer-games and their graphic design⑦Russian, English

①Zorina Maria②Female③1989④Russia, Saint Petersburg ⑤ randomhappens@yandex.ru ⑥ Japan, literature, communication, computer-games, languages, cinema, dance⑦Russian, English

① Belyaeva Ugeneiya ② Female ③ 1986 ④ Russia, Komsomolisk-on-Amur ⑤ daemon_balrog@mail.ru ⑥ Occupation: Student (architecture, design) Hobbies: culture, LARP (live-action role-playing games). Drawing, computer-graphic, web-design, computer-games (RPG), reading (fiction, prose), music (rock), I play guitar. Japanese culture (traditional and present), anime, manga⑦ Russian, English, Japanese a little bit

① Vasilieva Anna ② Female ③ 1985 ④ Russia, Saint Petersburg⑤Saluoki@mail.ru⑥Art, Japanese culture and language, fine arts, anime, ethnic music⑦Russian, English

①Lutseva Nataliya②Female③1981④Ukraine, Sevastopol ⑤prodbioprom@lik-info.com⑥Japan, anime, manga, music, drawing, dance, psychology IT.⑦Russian, English

① Zhuk Yurii ② Male ③ 1963 ④ Russia, Far East ⑤ zukzukur@mail.ru⑥Sport, guitar, Japan⑦Russian, English

① Churbakov Sergei ② Male ③ 21 years old ④ Russia, Novosibirsk city ⑤ sergwarm@gmail.com ⑥ Occupation: student of the university, Hobby: study Japanese language, listen Japanese music, driving car ⑦ Russian, a little Japanese

手紙を書くときは・・・

はじめの一步はメールから。まずは気になった相手にメールを書いてみましょう。相手のパソコンでは日本語が文字化けして読めないこともあるので、最初のメールは英語で書くのが無難です。ロシア語で頑張って書いてみるのもいいでしょう。

それでは、すてきなお友達が出来ますように!!



2006 年 11 月 18 日(土)、東京・四谷のロシア情報センターにて、「ロシア講演会 & 留学相談会」を行いました。ロシア講演会では、創価大学の阿部昇吉先生をお招きし、「ロシア文学に魅せられて～私のロシア語学習履歴」というテーマでお話をいただきました。ロシア留学を考えていらっしゃる方はもとより、幅広くロシアに興味をお持ちの方 20 名以上が参加されました。お話は非常に興味深く、会場のあちこちから笑いのもれる楽しい時間となりました。詳しい内容は、次号以降の JIC インフォメーション紙上にてご報告いたします。

後半の留学相談会は、ロシア留学をお考えの方を対象に行われました。スタッフが JIC ロシア留学の特徴を話した後、参加者の質問にお答えし、その後は個別の相談をさせていただきました。参加者のロシア語学習歴や方法はそれぞれ違うものの、留学したいという気持ちにおいては皆さん一緒のようで、私達スタッフの説明にも熱が入りました。阿部先生のお話にも、参加者の熱意にも励まされっぱなしの一日でした。



TOKYO

ロシア講演会 & 留学相談会

ロシア留学フェア OSAKA

2006 年 11 月 11 日(土)、大阪で「ロシア留学フェア」を行いました。当日は、雨 & 突風の天気にもかかわらず会場へお越しいただいた皆さま、ありがとうございました。



スタッフが JIC のロシア語留学のバリエーションについて説明し、実際にロシア留学経験者にも話をしてもらいました。参加者の皆さまは、どんな留学・研修をしてみたいのかは分かっているけど、それがどの研修先で実現できるのかが分からないようでした。スタッフの説明とその後の個別相談を経て、自分に合った



研修先が絞れたのではないのでしょうか？次回は 5 月の予定です。ぜひご参加ください！

イベント報告 etc.

ロシア語講座



東京・大阪とも

10 月より後期開講中！！

入門Ⅰ(火)、入

門Ⅱ(月)、初級

(月)、中級(水)、

上級講読(木)、上級会話

(金)、土曜クラス(土)

時間：各クラス 18:30-20:00

受講料：60,000 円(全 20 回)

場所：ロシア情報センター

(東京・四谷)

TOKYO

OSAKA

入門(火)、初

級(木)、中級

(金)、上級(月)

時間：各クラス 19:00-20:30

受講料：35,000 円(全 15 回)

場所：JIC 大阪オフィス

(大阪・天満橋)

* * * *

途中からの受講も可能です。ご希望の方は見学もしていただけます。お気軽にお問い合わせ下さい。

第 57 回を迎えた神戸市外国語大学の恒例行事、語劇祭が 2006 年 11 月 25 日(土)、26 日(日)に神戸・新開地のアートビレッジセンターで開催されました。ロシア語劇団の演目は 25 日に行われました。今年の演目は、マルシャークの「森は生きている～12 の月の物語～」でした。

劇団員の皆さんの練習がいかに大変だったかを物語るような、すばらしい劇でした。ロシア語の発音も、演



技も！ロシア語の勉強、これからも頑張ってください。

来年も呼んでね★

神戸市外国語大学
語劇祭

日本語講座



4 月 3 日(火)

より、ロシア

語で学ぶ、日本

語講座の第 1 学期がスタート

します！詳しくは 13 ページを

ご覧下さいませ！

週 2 回、全 20

回の講座です。

興味のある方、

お問合せ下さい

ませ！



毎年 2 回、もうすっかり恒例のイベント、大阪 JIC フェアが昨年 12 月 10 日(日)に行われました。在阪のロシア人・旧ソ連地域出身の方々、さらにはロシア語を勉強する学生やロシア大好きな皆さまが数多く集まるおなじみのこのイベント、今回もたくさんの方々にご参加いただきました。

いつものことながら、ロシア語と日本語を瞬時に使い分ける日本在住ロシア人はすごいなあと思います。私達の不慣れなロシア語も、日本語でフォローしながら最後まで聞いてくれます。時には、文法の間違いを説明しながら…。ロシア人の温かさを感じる瞬間です。また、ロシア好きの仲間が出来るのもこのパーティーならではの。年齢や性別に関係なく、同じ出発点からロシアに興味を持った人もいたりして、(いつもどおり)非常ににぎやかなイベントになりました。次回は 6 月

OSAKA JIC フェア

ロシア長期留学4月生(第32期生)

2007年1月31日締切!!

期間
2007年4月より10ヶ月
締切
2007年1月31日

締め切り間近です。ご不明な点などはお気軽にご相談下さい!



モスクワ国立大学\$6200(授業料10ヶ月)

サクト・ペテルブルグ国立大学\$4090(授業料10ヶ月)

ウラジオストク極東大学\$2800(授業料10ヶ月)

*上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金及び取得手数料などがかります。



～モスクワ～

モスクワはロシアの首都。情報と流行の発信地でもあります。芸術やスポーツをはじめとしてエンターテインメントも豊富にそろっています。

～サンクトペテルブルグ～

サンクトペテルブルグは、とても美しい街。街全体が美術館のようです。エルミタージュ美術館が有名ですが、郊外にも見どころがいっぱいです。



～ウラジオストク～

ウラジオストクは、なんと日本からたった2時間で行けるヨーロッパ。物価も安く、とても住みやすいです。



お気軽にパンフレットをご請求下さい!



留学・研修各種パンフレットはJICへご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!

ロシア留学相談会のお知らせ

ロシア長期留学・春の短期ロシア語研修旅行の締め切り直前! 留学相談会を東京・大阪各オフィスにて開催いたします。留学についての不安や疑問を相談してみよう! ご希望の方は、各オフィスまでご予約ください。

1月13日(土) JIC 東京 13:30-16:30
1月14日(日) JIC 大阪 13:30-16:30
1月27日(土) JIC 東京 13:30-16:30
1月28日(日) JIC 大阪 13:30-16:30

《会場》 東京: 四谷 ロシア情報センター
大阪: 天満橋 JIC 大阪オフィス

《お問合せ・予約先》

東京: TEL03-3355-7287 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪: TEL06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp



JIC春の短期ロシア語研修旅行

モスクワ大学ロシア語研修

& サンクトペテルブルグ旅行

2007年1月15日締切!!

期間

2007年3月4日(日)~22日(木) 全19日間

料金

成田・関空発 ¥278,000-

旅行企画実施: ジェーアイシー旅行センター(株)



2週間のモスクワ大学でのロシア語研修とサンクトペテルブルグ旅行がセットになった、JIC 留学スタッフおすすめのプランです! ロシア語のレッスンを本場で体験するのが目的だけど、せっかく行くのだから観光名所は押さえておきたい! というよくばりな希望を叶えます。

勉強も観光もしっかり!



最少催行人数: 6名

添乗員: 同行しません。現地係員がご案内します。

15名以上の場合 JIC よりツアーリーダー同行。

ロシア査証代・査証取得代行手数料・空港諸税など別途必要となります。

～Jクラブ(JIC友の会)のご案内～

JICインフォメーションを年6回、またJICのイベント案内を月々お届けします。

年会費3,000円を下記口座にお振込みください。

郵便口座: 00120-5-367767 国際親善交流センター